

学校評議員のご意見 (R2.4.1)

領域名 1 学校の基本的な目標・方針の設定に関する領域

(1) 学校評議員に意見を求めた事項

- ・ 基本的な生活習慣の確立と、安全管理・規範意識の高揚を図る指導について
- ・ 学習習慣の確立と確かな学力の定着について

(2) 学校評議員の意見

- ・ 通勤途中の駅等で生徒を見かけるがマナーは良い。挨拶をしてくれる知り合いの生徒もいる。
- ・ 学びの基礎診断による学びなおしのシステム（プレスタ～Pre-study）は中学校関係者の立場からもありがたい。中学校でも「やる気が出る」指導をして、中学校から送り出したいと考えている。それと関連すると思われるが「プレスタ」の機会設定はありがたい。②中学校でも朝読書を実施し、また最近では「分数計算」も行わせて、復習の機会を設けている。高校の取り組みはありがたいし、中学校でも頑張りたい。

領域名 2 学校評価に関する領域

(1) 学校評議員に意見を求めた事項

- ・ 生徒が、学習、生徒会活動に自主性を持ち、自ら考え、取り組む態度をどう育むかについて
- ・ 学校評価の結果から特色ある学校づくりの方向性について

(2) 学校評議員の意見

- ・ 学校評価をまた違う目線で眺めると面白い。年次経過に伴う推移や取り組みが興味深い。
- ・ 新規事業「プレスタ」の導入により、教員の負担増になっていないか？
- ・ 学校評価結果生徒の「自主的な取り組み」項目評価がダウンしているのは、「プレスタ」の影響ではないか？ 丁寧な分析がほしい。

領域名 3 地域との連携協力に関する領域

(1) 学校評議員に意見を求めた事項

- ・ より良い教育活動のために学校と地域連携をどう推進すべきか

(2) 学校評議員の意見

- ・ 登下校時の生徒の様子に問題は無い。また、時々地域の清掃をしてもらっておりありがたい。特に、地域からの苦情や意見等は聞いていない。また、防災行事に関しては生徒の各居住地におけるものに参加して欲しい。
- ・ 上野原市内の小中学生を対象に、夏冬の長期休業中に学習フォローアップ教室を市内3か所で開催しており、教員OBなどが複数人で指導に当たっている。令和元年度は近隣の高校の生徒が来てくれたので、今後この催しに上野原高も参加してくれないか。インターンシップの一環としても興味深いと思う。

領域名 4 教育課程に関する領域

(1) 学校評議員に意見を求めた事項

- ・総合学科高校としての特色づくりについて
- ・キャリア教育の推進について

(2) 学校評議員の意見

- ・12月開催予定の総合学科発表会はいつも楽しみにしている。特にポスターセッションが面白い。指導の詳細等を教えて欲しいと思っている。
- ・教育課程において、看護系向けのプランがあるから、進路から報告があったような看護専門学校への進学が増えたのか？ 難関学校へ進学している生徒もいるので、上野原高校の一つの特徴としてPRの材料になるとよい。看護系向けのプランは良いプランだと思う。
- ・総合学科発表会は面白そう。「酒饅頭」など題材の選択が興味深い。

領域名 5 生徒指導（いじめの問題を含む）・進路指導に関する領域

(1) 学校評議員に意見を求めた事項

- ・しなやかな心の育成について
- ・進路について

(2) 学校評議員の意見

- ・入学式に出席した際、在校生による校歌を聞いた。よき慣例と思うので今後も継続してほしい。
- ・欠席も少なく前向きに高校に通っている生徒がいると聞き、そのきめ細やかな指導に感謝している。
- ・進路決定者のうちAOや推薦等が多くなっているが、一般入試による入学生との学力の差があるということが一般的に言われているが、それに関して何か対応はしているのか？
→〈回答．面接の機会を増やし入試方法に対応した受験指導を行っている。少人数課外で一般入試に合格できる学力養成を行っている。〉
- ・入試制度が大きく変わろうとしているが、どのような対応をとっているか？
→〈回答．新入試制度については多くの懸念があるので、積極的な情報収集と早めの対応を心がけている。英語については、授業のほかに英検等をとおして4技能の育成をはかっていく。〉

領域名 6 その他の領域

(1) 学校評議員に意見を求めた事項

- ・学校教育全般に関して

(2) 学校評議員の意見

- ・生徒数が減少する中で、生徒が行きたいと思う学校になるようなPRの努力を願う。
- ・同様に中学校現場への働きかけも望む。
- ・小学校での英語教育が始まっている。かつてのスピーチコンテストなど、中学生を巻き込んだの取り組みや、上野原高校の特色を生かした連携を検討してほしい。